

**わがまちの
「ちょっといい話」**
NO. 22
「道徳のまち笠松」推進会議
(笠松町教育文化課)

○もつなすむつ

十月三十一日に、「笠松秘伝めぐり」と笠松刑務所矯正展コース」と名づけられた名鉄ウォークが開催されました。このウォークに参加される方々を

「もてなしの心」で迎えようと町内で準備がされました。人々が自分のできる活動に、互いにかかわり合い尊重しながら取り組む。この姿には、「道徳のまち笠松」で大切にしている「自ら社会づくりに参加する」心が強く感じられます。道徳のまち笠松推進会議でも、町をきれいにして参加者を迎えたいという声を受け、コース沿いのポイ捨てゴミゼロをめざすことにしました。コースが長いので、三日に分け、一日二時間程度の計画をたてました。また、より多く

**おもてなしの心で
迎えた 名鉄ウォーク!**

の方に知ってもらおうと松枝・笠松地域では、町内会の回覧板で呼びかけていただきました。

○家のまわりは きれいだが

こうして迎えたゴミ拾いは、回覧板を見て参加された方や「道徳のまち笠松」の関係者など十一名で行われました。

家の立ち並ぶ区域ではポイ捨てゴミは少なく、町をきれいにする心が感じられます。しかし、公共地や交通量の多い道路わきには、ゴミ、タバコの吸い殻、缶、ペットボトルなどが目につきました。三日間で集めたポイ捨てゴミは、十袋ほどになりました。

この取り組みとは別にコースにあたる神社境内の清掃活動も行われました。こうした姿には、自ら社会づくりに参加

する心を強く感じます。

○きれいな町で 迎えたい!

ゴミ拾いの途中、出会う方々から声をかけられました。「何かあるの? 苦労さん。」「そう、ウォークする人がここを通られるの? きれいにしないかわ。」と道具を手にされる方も。町をきれいにして迎えたいという思いは多くの方の心の内にあると感じました。



田んぼの中のポイ捨てゴミを拾う (松枝地域)